

### 1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2892200284		
法人名	株式会社 ニッケ・ケアサービス		
事業所名	ニッケ てとて加古川		
所在地	兵庫県加古川市加古川町本町239-1		
自己評価作成日	令和3年 8 月 18 日	評価結果市町村受理日	令和3年12月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先
----------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ兵庫福祉調査センター		
所在地	尼崎市南武庫之荘2丁目27-19		
訪問調査日	令和3年11月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症になると今までの生活に支障が出てきますが、ご本人が今できること、興味を持っていることを活かして、快適な生活環境づくりを心がけています。  
毎日、体を動かし、歌を唄い、認知症の進行が少しでも抑えられることが出来ればと考えています。中庭で野菜を育て、おやつ作りに使用したり、食事に添えたりと入居者様が食べる事の楽しみを持って頂けるよう工夫をしています。天候や体調に合わせて敷地内の散歩や近所の神社までの散歩など機能低下にならないよう取り組みも行っていきます。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

繊維産業で栄えた播州地域での有力企業のニッケが、地域社会に貢献するために設立された「(株)ニッケケアサービス」が運営する【GHニッケてとて加古川】は設立から7年半が経過した。周辺に同系列の多くの高齢者施設や保育園も有り、日常の交流も盛んで、順調な運営が続いてきた。そこに昨年春頃からのコロナ禍である。利用者を感じから守るための取り組みは、家族との面会制限を含め、利用者・家族に大きなストレスとなり、これに対応せざるを得ない職員の苦労のほどははかりきれない。1日も早い終息を願うのみである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない		<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない

# 自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の入口に理念の掲示をし、入職時の研修の際、資料として配布して説明をし渡している。	法人理念：地域社会の一員として高齢者支援事業を通じ社会に地域の幸せを高める等…。事業所理念：「破顔一笑 ニッコリ笑顔があふれるホーム」とし、ミーティングなどで確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ渦になるまでは、地域の行事(夏祭り、秋祭り)に参加をして地域の住民の方との交流を持っていました。天候の良い日に散歩に出かけ住民の方と会えば、ご挨拶をしている。	コロナが来てから地域行事への参加や地域の住民のホーム運営への参加はなかった。従前はボランティア活動として、オカリナ演奏、カラオケ、マジック、ハーモニカ演奏などがあった。これらの再開を待っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所内での認知症ケアについての研修を行っていますが、コロナ渦になってからは、地域との関りがなくなってしまっています。コロナ渦になってから、実習生の受け入れも中止となっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ渦になって地域運営推進会議の開催が出来ていませんが、市役所・地域包括こがわへ、2021年5月・7月と議事録を提出しています。	一年ぶりに市のOKが出て昨日/11月29日運営推進委員会を開催実施した。民生委員・地域包括・市役所から参加。利用者・家族は欠席した。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所には、事故発生時や救急搬送などの報告を行っており、また、相談事も市役所に行い、解決に取り組んでいます。	全国共通の報告書を市へは提出している。ヒヤリハット、事故報告、相談ごと等は、従来通り。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社長の宣言もある。各フロア間の行き来は自由であり、入居者様の行動を制限することとはなく、職員に見守られながら過ごしています。玄関のカギは閉めています。	(株)ニッケ・ケアサービス社長は、よほどのことがない限り利用者の制限行為はしないとしておりGHてとてホーム内は当然として、全体がニッケの構内なのでスタッフが見守りつつ行動を制限することはしない。玄関の施錠はしている。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	リスクマネジメント委員会で全事業所統一の虐待マニュアルを作成し、研修に取り入れている。接遇委員より、普段の言葉遣いが悪い職員にはその都度、注意を行っています。	各種委員会として、リスクマネジメントや接遇、研修の各委員会がある。給食委員会は湯煎食導入後は変えている。	
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について資料を配布している。	成年後見を受けているのは現在一名。後見人は非家族。居住確認に来所。現状の電話確認、必要時の来所あり。職員スタッフは資料配布で、自立支援事業・成年後見制度を学んでいる。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には、ご本人やご家族とお会いし、施設の生活や活動に理解をいただき、入居を決めています。入院中の方とはコロナ禍の為、面談は出来ていません。契約時は、必ず、時間をいただき、契約締結の説明をしています。	契約時は時間をかけて管理者やユニットリーダーが説明・対応をしている。今までに五名以上、管理者が知るの四名の看取りをしている。契約時にもご意向を聞いている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や要望がある場合には、管理者や介護リーダーへ直接伝えて頂いています。	家族からの希望はある。電話でなくメールで連絡したいなど。介護スタッフが来訪時などに聞くこともあるが、すべて管理者に報告があがる。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回、会議を実施しています。職員の意見や活動に対して支援を行っています。	月一回の全体・合同会議で、連絡事項の伝達など情報共有をしている。職員個々との会話や意見を聞く機会もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員、個人で目標をたて、その目標の評価を行っています。できるだけ、職員が働きやすい環境を作れるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地域密着型のサービス事業所で合同で研修を月に1回、行い、知識や技術のスキルアップが出来る場を設けています。認知症実践研修に参加や講師として参加している。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の勉強会に参加出来ていません。社内では、デイ等、他のサービスの職員と交流あり。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にご本人の生活歴、趣味や嗜好をお聞きして、ご本人を理解するための資料として活用し、出来るだけ早くご本人が安心して生活できる場を作れるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	コロナで何度も会えないため、ご本人、ご家族の要望を電話で何度もお聞きしてケアプランに取り入れている。家族様からも連絡が入ってくる。入居時の不安がないように関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の要望をお聞きして、その時に必要としているサービスの提案を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様に常に寄り添うパートナーであるという事を忘れず、日常生活でのお手伝いや役割を持っていただけるよう支援を行っています。今、その時の時間を大切に共に過ごしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の日頃の様子をお手紙や電話、面会時にお伝えしています。コロナが落ち着けば、家族会も行いたい。		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の住み慣れた町や関わってきた人との関係が続くようにコロナが落ち着けば、町内や住んでいた地域の行事に参加をしたい。	春夏秋の祭りが中止となり地域の人や場との行事・交流は出来なくなっている。民生委員から地域行事はしないと聞いており、復活を待っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の行動を把握し施設内の行事は、合同で行えるようにして関りができるように努めている。また、友人関係等、築けた際にはユニット間でも行き来され、友人に会いに行くなどの支援も行っている。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	出来ていない。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様との日々の関わりの中で、思いや意向などの聞き取りを行い、ご本人の望む生活に繋げることが出来ないか、会議を通じて考えるようにしている。	入居利用者の思いや意向は事前に聴取し、職員に報告。非常勤スタッフにも伝達する。このGHIにはなごみ・いろりの2ユニットがあるが、利用者がどちらへも行くので、必要な情報は共有している。	今後、家族会の開催も検討しており、利用者を事業所と家族で支える歩み方も検討して欲しい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	暮らしの情報シートを使用して、入居前の生活状況を収集。電話でもご家族よりお聞きして把握に努め、スタッフ間でも情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	暮らしの情報シートで入居者様の心身の状況を把握して残存能力に応じた役割が出来るように努めている。		
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	生活の中での困りごとの把握は、毎日の申し送りで職員間で検討して、解決できることは、すぐに対応している。解決できないことは、後日、会議の中で検討し、プランに反映している。	介護スタッフは、全体では部屋割りの担当と助手担当としている。利用者と共に、買い出しにもいったりする。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートや介護記録にご本人の状況や変化を記録している。変化が大きくなれば、プランの変更を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が望まれる場合、他のサービスに繋げるようにしている。既存のサービスだけに捉われないように気をつけている。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベントは現在、コロナで中止であるが、開催されれば、参加を行う。気候が良い日には、散歩に出かけ、街並みを感じていただいています。		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の往診。専門医への受診が必要な方で、ご家族の付き添いが困難であれば、職員が付き添って通院している。	協力医療機関からの月2回の往診でたいていは問題ない。専門医療機関への受診は、職員が同伴することが多い。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職は、入居者の体調面で気になることがあれば、看護師に相談し、看護師からかかりつけ医に報告。受診が必要な場合は、受診をしている。		
32	(15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の地域連携室に連絡を行い、病状や退院の見通しを確認している。	現在は、入院者がいない。決まった入院機関はなく、入院が必要な場合は、協力医に入院先を探してもらう。	
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期の在り方については、入居時の契約の際に説明をしている。終末期では、ご家族の意向を確認し医師との面談にて状態の説明を行っていただいた上でケアの開始を行っている。	終末は病院でという例はない。当GHでとて加古川には、看護師の配置があり介護スタッフは、連携して対応できる。看取りまで希望する利用者もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを事務所に掲示している。		
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防訓練の実施。参加で出来なかった職員については、報告書を確認してもらい、周知に努めている。	調理にガスコンロを使っているのと、加古川が約50mの近くを流れている。火事と水害が心配である。最近では、2020.6.22に、初期消火訓練と避難訓練。11.24に初期消火訓練と職員等への通報訓練を行った。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様への声かけに注意を払い、職員 の押し付けにならないよう一人一人の対 応を行っている。接遇委員のチェックも実 施。	接遇委員会を設けており、会議の際に事例 を検討している。対応の実際について接遇 委員のチェックもある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	常に入居者様を第一に考え、支援を行って いる。入居者様の表情や行動を把握し、思 いを言って頂けるよう、耳を向けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活について、お一人お一人が自 分らしく自分のペースで過ごせるよう、強制 はしないようにして、出来る限り希望にそえ るように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	ご本人の好みに合わせた衣服や着慣れた ものを着ている。定期的な訪問美容でカット を行っている。お化粧をしたい方はお化粧 をされている。男性は髭剃りをされ、身だし なみを整えておられる。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	食事の準備は入居者様と行い、盛付けや 片付けも手伝って頂いている。入居者様が 食べたと言われる物をおやつ作りで行って いる。食事の楽しみを持てるよう努めてい る。	給食素材が、湯煎に代わった。給食委員会も少し 変えた。現在は、外出も外部からの出前や食事配 達もない。おはぎなど甘いもの・ちらし寿司・お好 み焼き・炊き込みご飯などの希望もあり、利用者 の参加を含め、湯煎食以外に、みんなでする調理 も試みている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	ご本人の食生活の把握をして健康管理に 努めている。食事形態や食器もおかずに合 わせて変えて食べやすいように努めてい る。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	毎食後、歯磨きやうがいを行っている。ご自 分で出来ない方については、職員が介助し て清潔を保てるように努めている。必要に 応じて訪問歯科の往診をしていただいでい る。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いてトイレの誘導するタイミングを図っている。おむつの方については、最低限の使用に努めている。	各ユニットに3カ所ずつのトイレがある。排泄チェックボードで排泄習慣を把握確認する。排尿等が進まない時、水分補給をする。年齢差より個人差がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように、水分補給(お茶・スポーツドリンク)をこまめに行っている。ゼリーも作り、しっかりと食べていただき、水分補給代わりにも努めている。毎日、運動も行い、体を動かして頂いている。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望やタイミングに合わせた声かけを行っている。拒否のある方については、時間帯を変更したり、日にちをずらし、個々に応じた支援をしている。	個浴をしている。檜製の木製浴槽である。お1人週に2回、朝からも昼からもある。ユニット毎に入浴日を決めている。浴槽が足を延ばしにくく家庭風呂より入りにくい面もあるが、介護スタッフが工夫協力して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決めず、見たいテレビがある時は、ゆっくり観ていただいている。眠られない入居者様には、飲み物を提供したり、ゆっくりと話を聞き、安心して眠っていただけるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局より、一包化の内服薬の配達があり日付けや名前いつ飲むものか印字されており、誤薬や飲み忘れがないように徹底している。服薬担当者を決めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備や片付け、洗濯干し、洗濯畳み、花の水やり、畑の草引き、野菜を育てたり役割や楽しみを持った生活が出来るよう支援している。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ感染防止の為、現在、外出はできていないが、感染状況が収まったら、外出していきたい。散歩には出ている。	GHがニツケの敷地内にあるため、自力歩行できる人、車いすの人でも神社や公園までケアワーカーと一対一での20分ほどの散歩ができる。保育園もあり園児たちの遊ぶのを見て和んでいる。	



自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失の心配もある為、ご自身で金銭管理をおこなっておられる方はいない。必要な場合は、立て替え払いをしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族と連絡をした時に、入居者様と電話口を変わることもある。うちわに顔写真を貼り、字を書ける人は、自分で一言を書いて郵送した。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓を行い、清潔を保てるようにしている。排泄の臭いがある時は、消臭スプレーや換気にも努め、不快にならないように気をつけている。キッチンにも花を飾り、落ち着けるような空間作りに努めている。	整理整頓、清潔保持に努めている。排せつの臭いがある時は職員が気付き消臭スプレーや換気に努め、花を飾ったりしての環境保全にも努めている。利用者の不快感に繋がらないようにしている。	移設から10年に満たない事業所。フロアに各3カ所のトイレが設置されているが、臭気が籠もったりは良い環境と言いきい。環境設備の点検、換気方法の改善をされる必要があるか検討されたい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、フロアと別れており、食後、ソファに座ってくつろがれる入居者様もおられる。テレビも自由に観られている。音楽を聴く時間も時折作っている。		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ馴染みのある物をご自宅より持参していただいている。家族の写真や今まで持っておられたぬいぐるみなども持ち込みをされている。	事業所設置の備品としては、防災カーテン、エアコン、洗面台、電動ベット、等。居室の清掃は職員スタッフがを行い、協力できる人(居住者)と一緒にやる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来ることは、自分で出来るように工夫をしている。トイレまでのやじるしを壁に貼ったり、トイレとわかりやすいように表示を作り貼っている。居室を迷われる方について、名前や目印をつけたりと工夫をしている。		

## 基本情報

事業所番号	2892200284
法人名	株式会社ニッケ・ケアサービス
事業所名	グループホームニッケととて加古川
所在地	加古川市加古川町本町239-1 電話 079-490-5310


【情報提供票より】令和 3年 11月 30日事業所記入

### (1)組織概要

開設年月日	平成 26年 3月 24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤: 10人 非常勤:6人 常勤換算:12.4人	

### (2)建物概要

建物構造	木造造り平屋建て 1階部分
------	------------------

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	63,000 円	その他の経費(月額)	円	
		光熱水費	19,440	
		管理費	26,400	
敷 金				
保証金の有無 (入居一時金含む)	有り(30万円)	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300 円	昼食	600 円
	夕食	600 円	おやつ	円
または1日当たり				

### (4)利用者の概要(11月30日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.8 歳	最低 68 歳	最高 97 歳		

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	大西メディカルクリニック・あたらし歯科医院
---------	-----------------------

(様式2(1))

事業所名 ニ ッ ケ て と て 加 古 川

## 目標達成計画

作成日 令和3年12月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	今後、家族会の開催も検討しており、入居者を事業所と家族で支える歩み方も検討してほしい。	令和4年内には、家族会を開催したい。	コロナが落ち着いてにはなりますが、事業所内にて家族会を開催して、入居者様と家族様の交流や家族様と職員との交流の場を作り、とて加古川での生活を全員で支えるようにしたい。	12ヶ月
2	52	開設して10年に満たない事業所。フロアに3か所のトイレが設置されているが、臭気が籠ったりは良い環境とは言いにくい。環境設備の点検、換気の方法の改善をされる必要があるか、検討されたい。	居心地のよい共有空間作りたい。	今後も整理整頓や清潔保持に努めます。トイレについては、換気扇を常時つけている。換気扇の清掃も定期的に行っている。リビングやフロア、居室の窓も定期的に開けて換気を行っている。ユニット内には、花を飾り、和めるように工夫している。	2ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(様式2(2))

## サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 ( ↓ 該当するものすべてに○印 )
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )